

# コンパクトキッチンDS(吊戸棚) 取付・設置説明書

## もくじ

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 安全上のご注意                        |     |
| 安全上のご注意                           | 2～3 |
| 2. 工具及び付属部品の確認                    | 3   |
| 3. 取付・設置の事前確認                     |     |
| (1) 壁面の仕上げの確認                     | 4   |
| (2) 強度確認                          | 4   |
| 工事区分                              | 4   |
| 4. 取付・設置手順                        |     |
| (1) 吊戸棚の取付                        | 5   |
| (2) 標準タイプ吊戸棚に別売品の照明機器を取付ける場合（参考例） | 6   |
| (3) コンクリート壁への固定                   | 7   |
| (4) 扉の取外し・取付方法                    | 9   |
| (5) 扉の調整方法                        | 10  |
| (6) ロック機構について                     | 11  |
| 5. 仕上げ                            |     |
| (1) 清掃                            | 12  |
| 6. 点検                             |     |
| (1) 安全点検                          | 12  |
| 7. 完了後の処置                         |     |
| (1) 商品の養生について                     | 12  |
| (2) 取扱説明書の保管・引渡し方法                | 12  |
| 8. 残材処理                           |     |
| (1) 梱包材その他残材の処置                   | 12  |

## 取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はコンパクトキッチンDS（吊戸棚）のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

# 1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



## 注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



## 警告

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



落下して、けがをするおそれがあります。

吊戸棚の設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。



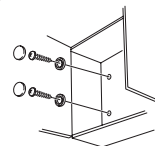
落下して、けがをするおそれがあります。

キッチンに組み込まれる電気機器、換気フード等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。ただし、コンクリート壁への固定については7頁参照とする。



製品が落下して、けがをするおそれがあります。

レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。



所轄の消防署に確認してください。  
離隔距離によっては、火災の原因になるおそれがあります。



## 注意

電気工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。



感電のおそれがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用する。



その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉の使用は、製品の変色・変質の原因になります。

## 1. 安全上のご注意（続き）

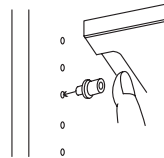
### ⚠ 注 意

吊戸棚の底面に水切りパイプ棚等を取付ける際には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく設置する。



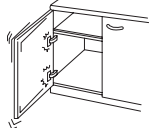
吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸棚底板にはネジが効かないため、取り付けた製品が落下して、けがをすることがあります。

棚板を設置する時は、棚受をすきまのないように根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ収納物が落下してけがをすることがあります。

取付・設置完了後は扉のがたつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをすることがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



製品が落下して、けがをすることがあります。

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。



誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、仕様部材の損傷や劣化の原因となります。

## 2. 工具及び付属部品の確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー



● 充電ドライバー  
(電気)



<付属部品>

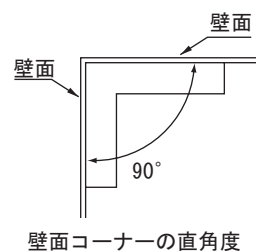
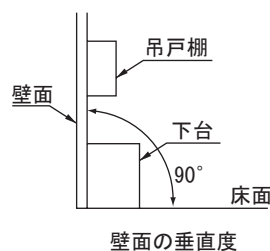
● 取付ネジ（標準吊戸棚）

| 間口 (cm)                | 30, 60, 75 | 90 |
|------------------------|------------|----|
| 付属部品名                  |            |    |
| 取付ネジ コーススレッドφ4.2×65    | 4本         | 5本 |
| キャビ連結ネジ コーススレッドφ3.8×28 | 4本         | 4本 |
| M4ワッシャー                | 8個         | 9個 |
| 化粧キャップ                 | 8個         | 9個 |

### 3. 取付・設置の事前確認

#### (1) 壁面の仕上げの確認

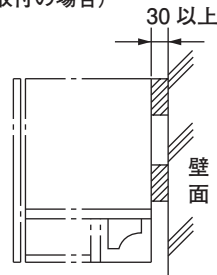
- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面が床面に対して前方に傾いていますと吊戸棚のロック機構が働いて扉が開かなくなります。あらかじめ壁面の吊戸棚設置下部に木（ベニア）を入れて、吊戸を設置した際に扉がロックしないように調整してください。
- 壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- 吊戸棚を設置する壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑に仕上げてください。



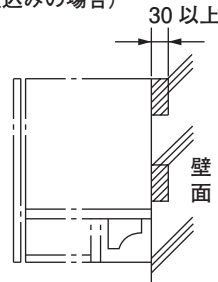
#### (2) 強度確認

- 吊戸棚を設置する壁面には、右図に示す位置に固定できる補強があることを確認してください。
- コンクリート壁に固定する場合は、必ず7頁の手順にて、固定してください。

(取付の場合)



(埋込みの場合)



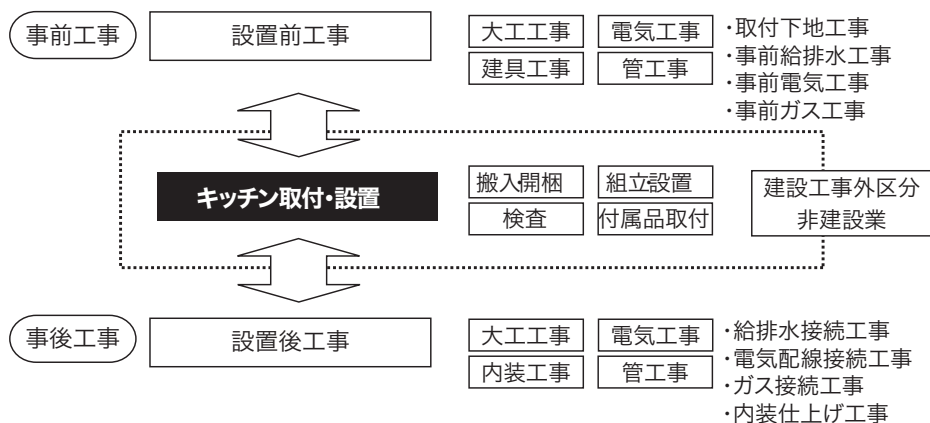
## 工事区分

### 警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



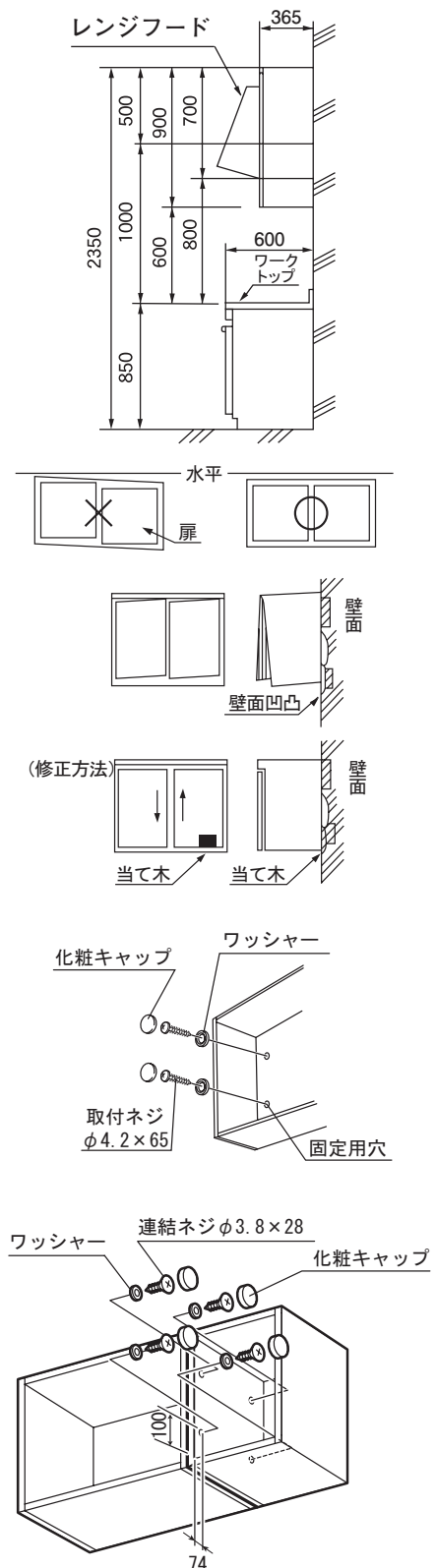
#### ■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



## 4. 取付・設置手順

### (1) 吊戸棚の取付

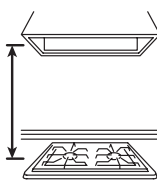
- ① 標準的な吊戸棚の取付位置は右図の通りです。吊戸棚の配置及び取付位置はコンパクトキッチンの取付設置図面に従ってください。
- ② キッチンパネルがある場合は、キッチンパネルを壁面に取付けます。キッチンパネルの取付・設置説明書に従って取付けてください。
- ③ 吊戸棚の取付位置を壁面、または壁面に取付てあるキッチンパネルに墨出しをします。
- ④ 吊戸を取付ける際は、吊戸棚を隅側より取付けていきます。吊戸が水平、垂直となるように取付けてください。水平に取付いていないと扉に段違いが生じることがあります。吊戸棚を据付ける壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑にしてください。扉の段違いが生じた場合は壁面と吊戸棚の間に当て木(ベニア等)を入れて調整してください。
- ⑤ 扉を外してから吊戸棚の取付を行います。扉の取外し方法は⑨ページを参照ください。
- ⑥ 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ(コーススレッド  $\phi 4.2 \times 65$ ) をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。取付ネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。
- ⑦ 左右に吊戸棚がある場合は、付属のネジ(コーススレッド  $\phi 3.8 \times 28$ ) で必ず連結してください。
- ⑧ 棚板を取付けます。棚受はキャビネットに確実に差込んでください。
- ⑨ 扉の取付方法は⑨ページを参照ください。



### 警告

- レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。

所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては消防署の検査に不合格になるばかりでなく、火災の原因になるおそれがあります。

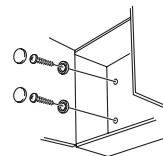


## 4. 取付・設置手順（続き）

### 警 告

- 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッド  $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定する。

指定位置以外で固定すると、製品が落ちて、けがをするおそれがあります。



### 注 意

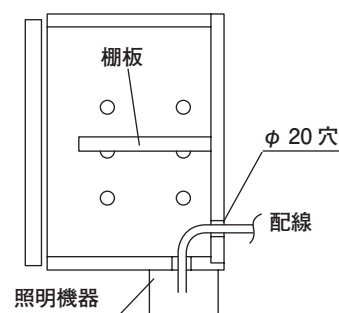
- 製品取付けの際に取外した扉、棚板は直接床に置かないでダンボール等で養生した場所に置く。

床や扉、棚板に傷がつくおそれがあります。



### （2）標準タイプ吊戸棚に別売品の照明を取付ける場合（参考例）

- ① 配線をキャビネット内に通す場合は、最下段の棚板より下面の背板に、 $\phi 20$  の穴をあけてください。
- ② 照明機器の取付・設置説明書を参考に、吊戸棚底板に配線用穴をあけ、照明機器を取付けてください。



### 注 意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

接続や固定が不完全な場合は発煙や、火災の原因になります。



## 4. 取付・設置手順（続き）

### （3）コンクリート壁への固定

#### 警告

- コンクリート面への吊戸棚の固定方法は必ず守る。

取り付けに不備があると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- コンクリートへの穴あけは必ずφ6mmのコンクリート用ドリル刃を使用する。

穴が大きいと、アンカープラグが抜けて吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- アンカープラグの向きを確認し、正しく取り付ける。

アンカープラグの向きを間違えると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

#### <コンクリート面に直接固定する場合>

- 標準品には首下65mmのコーススレッドが付属されているので、市販の首下50mmのコーススレッドを別途購入し、付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

#### <コンクリート面と吊戸棚の間に内装材などが入る場合>

- 吊戸棚の固定強度は、コンクリート壁に打ち込んだアンカープラグで吊り強度保持するよう内装材の厚みを考慮して、コーススレッドの首下長さを選定し、市販のものを別途購入する。(50mm+内装材厚みが目安の首下長さ) 付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

#### <必要部品>

- ・ アンカープラグ
- ・ コーススレッド

推奨：fischer 社製ナイロン系プラグ

品番：SX 6x30 若しくは同等品

M4 (4mm) ~ M5 (5mm) 首下長さ：50mm

※使用するアンカープラグに合わせて、径・首下長さ (Min. 50mm) を選定して下さい。

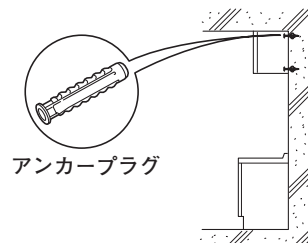
※アンカープラグ及び取り付け用コーススレッドは、別途手配して下さい。(同梱されていません。)

#### アンカープラグの取り付け方法

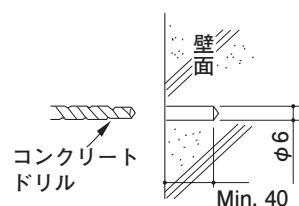
1. 吊戸棚を所定の位置にセットし、下穴の位置出しを行ってから、コンクリート壁にφ6mmのドリルで下穴をあける。(深さ：Min. 40mm)
2. アンカープラグをハンマーで軽く叩きながら、下穴に打ち込む。
3. 吊戸棚を所定の位置にセットし、市販のコーススレッドを締めつけて、吊戸棚をコンクリート壁に固定する。

※ 上記手順は、推奨のアンカープラグを使用する場合のものです。

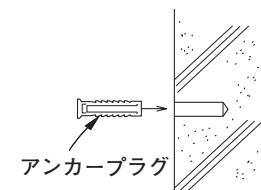
同等品を使用する場合は、各々の取り付け手順に則り、取り付けて下さい。



アンカープラグ

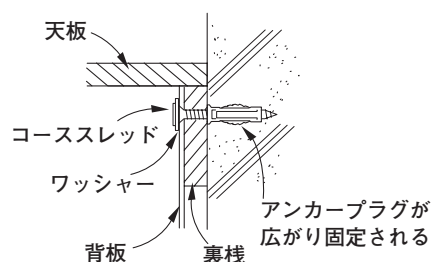


コンクリートドリル



アンカープラグ

※コンクリートの表面まで挿入する



## 4. 取付・設置手順（続き）

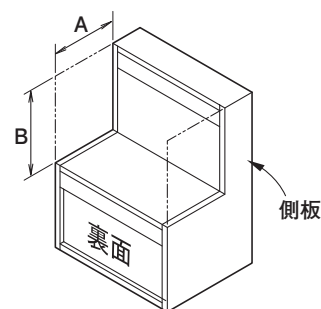
梁がある場合の取り付け

背梁用吊戸棚や梁下塞ぎ板を使用して設置する。

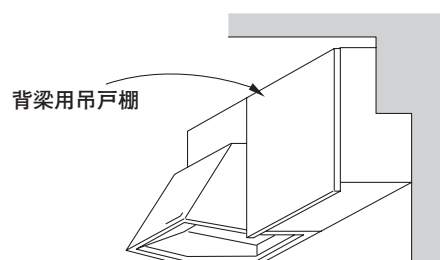
### ■背梁用吊戸棚（高さ 500・700mm 用）

梁のサイズに合わせて側板をカットする。

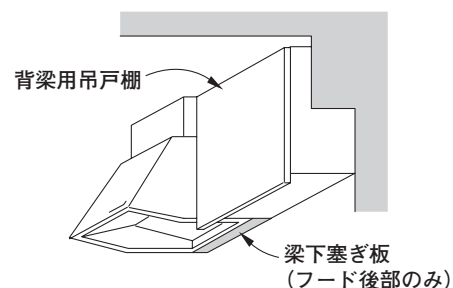
| 高さ  | A   | B   |
|-----|-----|-----|
| 500 | 230 | 200 |
| 700 | 230 | 300 |



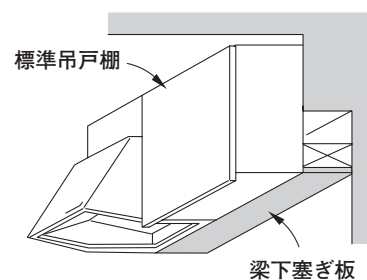
○梁奥行 150mm までの場合  
背梁用吊戸棚で設置する。



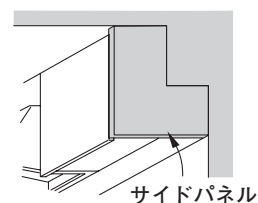
○梁奥行 151 ～ 230mm までの場合  
背梁用吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



○梁奥行 151 ～ 300mm までの場合  
標準吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



※吊戸用サイドパネルを対象のサイズに  
カットして使用してください。

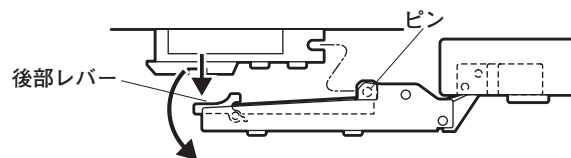


## 4. 取付・設置手順（続き）

### （4）扉の取外し・取付方法

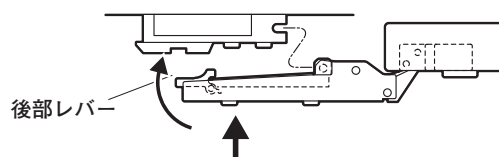
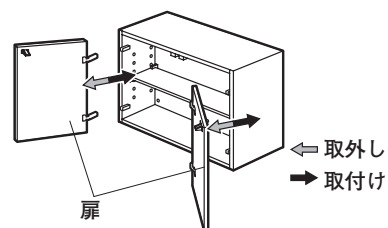
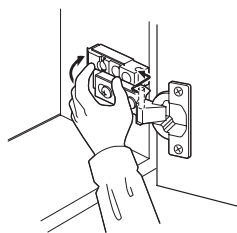
#### ① 扉の取外し方法

丁番の後部レバーを引くようにし、引き戸棚の扉を外してください。



#### ② 扉の取付方法

作業終了後、吊戸棚の扉を取付けてください。  
丁番前のピンを引掛けるようにし、丁番の後部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。



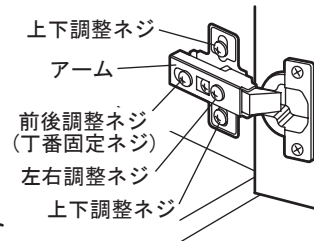
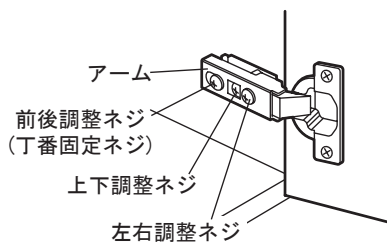
## 4. 取付・設置手順（続き）

### （5）扉の調整方法

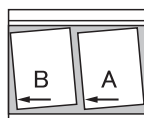
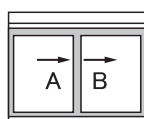
#### 各部の名称

丁番座金形状：  
ストレート形状

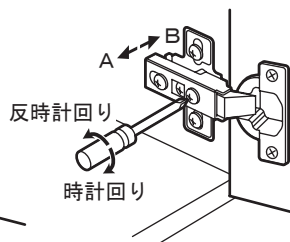
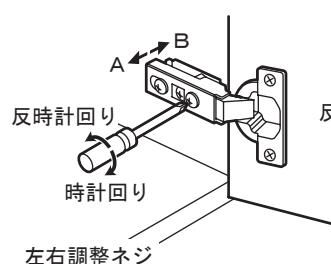
丁番座金形状：  
十字形状



- ① 左右傾きの調整をする場合（図－１）  
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。  
※調整は必ず±2mmまでとしてください。

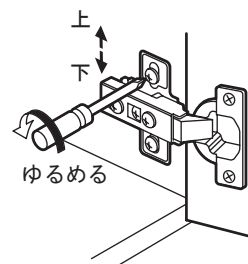
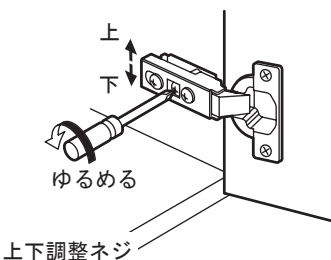
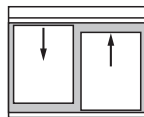


±2mm



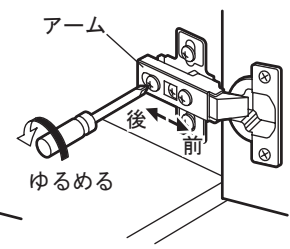
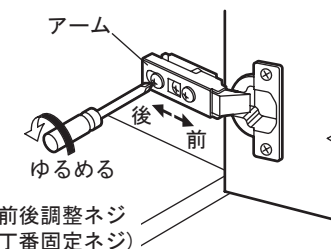
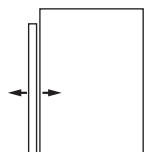
（図－１）

- ② 上下の調整をする場合（図－２）  
上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締めつけてください。  
（丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。）



（図－２）

- ③ 前後の調整をする場合（図－３）  
前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締めつけてください。



（図－３）

## ⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。

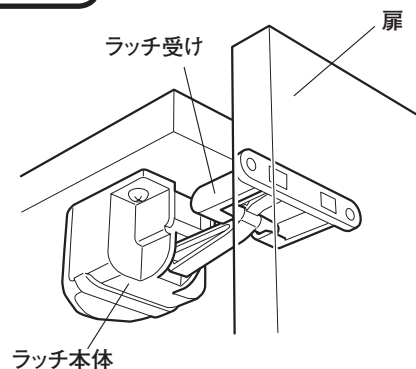


## 4. 取付・設置手順（続き）

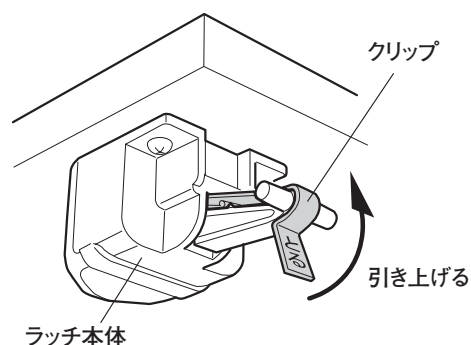
### （6）ロック機構について

- 製品出荷時には、輸送及び取付中のロック防止の為、ラッチ本体に黒色のクリップが取付けてあります。壁面取付後に下記の方法にてクリップを取外してください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直になっていることを確認してください。水平・垂直に取付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。（ラッチ本体が、左右で  $1.6^{\circ}$ 、前後で  $2^{\circ}$  以上傾くとロック機構が働きます。）
- クリップの取外し方法

各部の名称



キャビネットを壁面取付後、クリップ下部のツマミを持ち、手前上方に引き上げるようにして取外してください。



### ⚠ 注意

- クリップを必ず取外す。

取外しないとロック機構が作動しません。



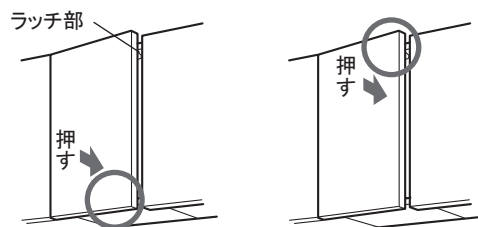
### ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。

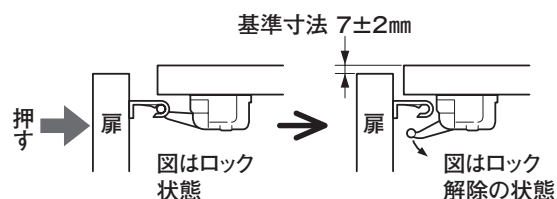
（図 - 1）

※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



（図 - 1）



### ⚠ 注意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が働かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



## 5. 仕上げ

### (1) 清掃

- ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。



### 注 意

- 清掃をする場合は台所中性洗剤を使用する。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤を使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



## 6. 点検

### (1) 安全点検

- ・ 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

## 7. 完了後の処置

### (1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。

### (2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

## 8. 残材処理

### (1) 梱包材その他残材の処置

- ・ 不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。